

(11) 三重県観光キャンペーンについて

1 県内の周遊性・滞在性を高める取組

観光客の県内での周遊性、滞在性を向上させ、県内各地の魅力に触れていただくことで、三重ファン、リピーターの獲得を目指し、「みえ旅パスポート」の発給や、道の駅をはじめ、宿泊施設等様々な施設に対して、「みえ旅案内所」及び「みえ旅おもてなし施設」への協力を働きかけています。

① みえ旅パスポート

- みえ旅パスポートが11月10日に10万部を突破し、12月1日時点で117,951部を発給

4月1日から12月1日までのパスポートの発給状況



発給数(全体)	117,951件
ファーストステージ	101,669件
セカンドステージ	13,217件
プレミアムステージ	3,065件
プレミアム達成者数	1,035名

* 鈴鹿8耐や県内4か所のサービスエリア、三重県フェア（イオンレイクタウン、イオンモールナゴヤドーム前他）、にっぽんど真ん中祭り（名古屋）、OZ（オズ）女子旅EXPO（東京）等で臨時発給を実施

※ みえ旅パスポートの10万部突破を記念し、11月26日に県庁内での記念イベントを開催するとともに、観光客の皆さんへのお礼の気持ちを込めた記念企画（10万部突破記念マイヤーレモン味キャンディの配布）を実施



② みえ旅案内所

- みえ旅案内所について、当初64施設が86施設に増加（12月1日現在）

みえ旅案内所設置一覧表(県内)

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	合計
観光案内所	4	2	8	4	1	19
観光協会	1	1	1	0	1	4
道の駅	2	3	1	2	5	13
その他	7	19	6	9	6	47
合計	14	25	16	15	13	83



※ 県外 10月10日～ 首都圏営業拠点「三重テラス」(東京都)

※ 県外 12月1日～ 関西事務所(大阪府)、桜通りカフェ(名古屋)

- みえ旅おもてなし施設について、当初の約 640 施設が 796 施設に増加(12月1日現在)

みえ旅おもてなし施設一覧

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	合計
飲食施設	103	96	54	25	13	291
宿泊施設	27	27	74	14	10	152
物販等施設	52	38	57	22	8	177
観光施設	14	17	17	10	3	61
その他	38	34	25	11	7	115
合計	234	212	227	82	41	796



2 地域部会連携事業

5つの地域部会（北勢・中南勢・伊勢志摩・伊賀・東紀州）において、現在、平成26年度上期の取組（エリアパンフレットの作成、地域部会連携事業）に向けて、随時、地域部会を開催し検討しています。

開催状況（10月31日現在）

北勢地域部会：5回 中南勢地域部会：7回 伊勢志摩地域部会：3回
伊賀地域部会：8回 東紀州地域部会：6回

エリアパンフレット（第2弾）

北勢	街道探訪第2回 四日市宿・八風道・菰野道・湯の山道
中南勢	寄り道の旅 第2回テーマ 酒蔵×食×旅
伊勢志摩	伊勢志摩の風に誘われて ザ☆伊勢志摩「男旅」
伊賀	癒しの隠れ里で、心もカラダもリフレッシュ！
東紀州	東紀州のパワースポットめぐり/松本峠と木本の街あるき

3 官民一体となった情報発信

(1) 交通事業者等と連携した情報発信

県内を中心におもてなしの意も込め、観光客に周遊の促進及び再来訪を訴求する広報宣伝を展開しています。

- 三重交通株式会社において、10月19日より、県内6地域（桑名市、四日市市、津市、松阪市、伊賀市、熊野市）でみえの地域周遊定期バス「ちょび旅」の運行を開始

みえの地域周遊定期観光バス「ちょび旅」プラン

<p>桑名の歴史探訪 旅行代金 1,000円</p> <p>桑名駅(9:00)～多度大社～六重町～七重の道筋 朝日館～寺町通り～桑名駅(12:00頃)</p> <p>出発日/10月19・26 11月9・16・23・30 12月7・14・21</p>	<p>まごの店と松阪の歴史とまち歩き 旅行代金 1,000円</p> <p>松阪駅(12:00)～米子で橋(自由橋)～ベルファーム ～伊賀家(15:00)～松阪市内観光(現地時間)～松阪駅(17:30頃)</p> <p>出発日/10月19・26 11月9・16・23・30 12月7・14・21</p>
<p>よっかいちぐるバス 午前の部(萬古コース)</p> <p>近鉄四日市駅(9:00)～四日市東一ビル～萬古コース アトリエ区民会館～びんご温泉～近鉄四日市駅(12:00頃)</p> <p>旅行代金 1,500円</p> <p>出発日/10月5～12月の 毎週土曜日</p>	<p>伊賀鉄道と伊賀のまち歩き 旅行代金 1,400円</p> <p>名張駅(10:00)～伊賀ふれおセンター～名匠上 野ドライブイン～上野市街散策～伊賀 鉄道車庫～伊賀神戸駅(13:00頃)</p> <p>出発日/10月19・26 11月9・16・23・30 12月7・14・21</p>
<p>日本三大観音のひとつ津観音と津の歴史・散策</p> <p>津駅(9:00)～津観音～原田山崎寺等～津駅 (12:00頃)</p> <p>旅行代金 1,000円</p> <p>出発日/10月19・26 11月9・16・23・30 12月7・14・21</p>	<p>世界遺産・熊野古道と花の窟、願掛け</p> <p>熊野古道(11:45)～月ヶ崎センター～七重御洗 子～花の窟 初瀬御洗～熊野古道(15:30頃)</p> <p>旅行代金 1,000円</p> <p>出発日/10月19・26 11月9・16・23・30 12月7・14・21</p>

● 観光案内/12の観光案内バスは全て路線バス(スタンプ)となります。(中継・運賃別付) ② 上記のコースには乗車券がついておりません。③ ガイドはお預けいたしません。
● 本日は乗車シート以外は、施設入場料は含まれておりません。④ この角額は三重県内各観光地にはお預けしていただきます。お申し込みは下記まで。

お問い合わせ/お申込みは 株式会社 観光振興システムズ ☎052(589)0200 又は VISIT 三重県 <http://visit-town.com/mie>

- 実はそれ、ぜんぶ三重なんです！ドライブプランの実績
(中日本高速道路株式会社との共催事業)

実施期間 3月24日～9月30日

※4/27～5/6、8/9～8/18を除く

○周遊プラン利用実績 2,251件 (3/24～9/30) 171日

○発着プラン利用実績 901件 (3/24～9/30) 171日

合計 3,152件

○1日あたり利用件数 3,152件/171日=18.4件



【参考】

岐阜県清流ドライブプラン

実施期間 平成24年7月12日～10月31日

※8/10～8/19を除く

○周遊プラン利用実績 1,083件 (3カ月半合計) 102日

○東京発着プラン利用実績 294件 (3カ月半合計) 102日

合計 1,377件

○1日あたり利用件数 1,377件/102日=13.5件

(2) 企業等と連携した情報発信

県内各企業と連携し、キャンペーンロゴマークを活用したPRを展開しています。

① ヤマト運輸グループとの連携企画

11月1日から、ヤマト運輸グループとのコラボ企画として、三重県観光キャンペーンのロゴマーク等のイラストが入った宅配ボックスの取り扱い等を実施

<宅配ボックス>

県内のヤマト運輸直営店(57箇所)で、三重県観光キャンペーンのロゴマーク及び県内各地の観光地や特産品のイラストが入った「三重ボックス」と伊勢志摩地域限定の「伊勢ボックス」の2種類の宅配ボックスの取扱い



商品内容 三重ボックス・・・伊賀忍者や熊野古道等のイラスト入り
伊勢ボックス・・・真珠や伊勢えび等のイラスト入り

販売期間 平成25年11月1日から平成28年3月末まで

<三重の名産品お取り寄せカタログ>

カタログ販売として、松阪牛や四日市萬古焼など三重ブランド認定品の食材や伝統工芸品等を集めたお取り寄せカタログ「三重の名産品お取り寄せ」を新たに作成



商品内容 三重ブランド認定品の食材や伝統工芸品など 55 品目
販売期間 (カタログ取扱期間)

平成 25 年 11 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

販売場所 (カタログ設置場所)

県内のヤマト運輸直営店及び宿泊施設、観光施設等の販売代理店

* 三重県観光キャンペーンピンバッジやご当地キャラのストラップ等、7 商品を集めた「みえキャラグッズ詰合せ」も 50 セット限定で販売

②伊藤園との連携企画

11 月 1 日から、株式会社伊藤園において、『三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！～』の連動企画として、自動販売機サブパネルへの三重県観光キャンペーンの表示、販促ツールを活用した店頭 PR 等を実施

展開内容

- 自動販売機サブパネルへの三重県観光キャンペーンの表示
- 販促ツールを活用した店頭 PR
- 伊勢神宮日帰りバスツアーへのご招待キャンペーン



自動販売機での PR



店頭 PR



記者発表

4 その他

(1) 三重県観光交流会

首都圏において、食・物産・観光等の三重の魅力を発信し、効果的なメディア露出を図るとともに、メディア等と県内観光関係者(約 40~50 団体)との交流の場を設けることで、今後の継続的な情報発信につなげます。

<日時> 平成 26 年 1 月 31 日

<場所> ロイヤルパークホテル (日本橋) * 400 人程度を想定

<テーマ> 三重の森の恵み

<内容> 講演、知事とのトークセッション

(2) 「実はそれ、ぜんぶ三重なんです～三重おかげさま講座～」

12月～3月にかけて、三重県の首都圏営業拠点「三重テラス」において、「実はそれ、ぜんぶ三重なんです～三重おかげさま講座～」を開催し、三重県の深い魅力を伝えることで、旅の動機付けを行います。

第1回 日時 平成25年12月4日 19:00～20:30
講師 鎌田 道隆 氏 (歴史学者)
内容 お伊勢参りが育んだもの
募集定員 50名



第2回 日時 平成25年12月20日 19:00～20:30
講師 中上 紀 氏 (作家)
内容 私の熊野 神話の記憶
募集定員 50名



《講師：今後の予定》

中野晴生氏 (写真家)、松尾たいこ氏 (イラストレーター)

(3) 古代歴史文化賞

遷宮や古事記・日本書紀を共通テーマに、島根県や奈良県等と行う連携事業の一つとして、島根県が主催、三重県、奈良県、宮崎県が共催して、古代歴史文化に関する書籍を表彰する「古代歴史文化賞」の表彰を行っています。

なお、1月には、奈良県が主催し、三重県、和歌山県、島根県、宮崎県が協力する「古事記出版大賞」の表彰を行います。

● 9月9日 古代歴史文化賞受賞作品の発表

古代歴史文化賞 「古代国家はいつ成立したか」：都出比呂志氏

古代歴史文化みえ賞 「古事記はいかに読まれてきたか」：斉藤英喜氏

古代歴史文化なら賞 「道が語る日本古代史」：近江俊英氏

古代歴史文化しまね賞 「古代に行った男ありけり」：関和彦氏

古代歴史文化みやざき賞 「古事記を読み直す」：三浦佑之氏

● 11月17日 古代歴史文化賞決定記念シンポジウムと各賞の贈呈式



古代歴史文化賞受賞作品の発表



古代歴史文化賞決定記念シンポジウム

